



須藤拓真さん
(比叡)

HOPE'S
希望の声届けます

「震災当時、何もできなかった自分が悔しかったです。救急救命士として必ず現場に立って人を助けたいと強く思いました」高校2年生の冬に震災を経験したことで、自分の歩むべき道を決断したという拓真さん。夢を追って大学進学し、訓練や実習を乗り越えてきました。辛い時にはいつも、同じ目標をもつ大切な仲間が存在があったそうです。「仲間と共に成長してきました。出会いに感謝しています」。そして現在、これまでの努力が実り来年の4月から消防官として勤務することが内定しています。「震災は、良くも悪くも自分を変えてくれました。目標をもつて生きていくことの大切さを知り、自分が変わるきっかけになりました」



つくってたべよう

素朴な味わい♪
「かぼちゃご飯」

材料（4人分）

- ・かぼちゃ …… 200 g
- ・塩昆布 …… 10 g
- ・酒 …… 30cc
- ・しょう油 …… 30cc
- ・みりん …… 30cc
- ・水 …… 500cc
- ・米 …… 3合
- ・油あげ …… 30 g
- ・ほんだし …… 10 g
- ・塩 …… 2 g

（作り方）

- ①米を研いだらザルでよく水を切っておき、かぼちゃと油あげを1～1.5cm角に切る。
- ②炊飯器に米、塩昆布、調味液を入れる。
- ③油あげ、かぼちゃを入れて炊飯する。

協力：飯館村食を考える会

宝くじ助成金活用
暮らし・地域文化の継承へ



▲27年間手作りで発刊を続けています

コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行っています。

地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。



入札結果をお知らせします

入札日／11月10日（単位：円）

工事（業務）の番号・名称	契約額 (税込み)	請負業者	完成予定
コミュニティバス購入	9,018,000	三菱ふそうトラック・バス(株) 東北ふそう福島支店	平成27年 12月中旬
壁面遊具「きっこう転がし」購入	6,480,000	(株)北樹	平成28年 3月末
総合グラウンド法面補修工事	1,404,000	濱田建設工業(株)	平成28年 2月末
地上デジタル放送再送信事業工事	84,672,000	東日本電信電話(株) 福島法人営業部門	平成28年 3月末
地上デジタル放送再送信事業工事監理業務	2,030,400	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成28年 3月末
災委第4号 公共土木施設災害積算業務	1,738,800	(一財)ふくしま市町村支援機構	平成28年 2月末

こころの ぽけっと

「お互いさま」の心

発災日の3月11日をはじめ、村の避難が決定された4月22日、そして役場を福島市飯野町に移した6月22日。さらに線量により3つの区域に分けられた次の年の7月17日など村にとって忘れられない日があります。

今回もう1日、忘れてはいけない日に加わりました。平成27年11月25日です。この日は村と放射性物質汚染廃棄物まで処理する初めての仮設焼却炉の火入れをした日だからです。

迷惑施設は誰だって嫌です。そのような中、蔵平の皆さんのご英断と村民・村議会の理解をいただいたての建設でした。村の復旧・復興のためだけでなく、私たち村民の避難を受け入れていただいている自治体の困りごとゆえの協力施設としてです。

「お互いさま」の精神は、私たちが先人から受け継いできた村の宝では…」という私の話に苦渋の選択をしていただきました。今回ほど、村民を誇りに思ったことはありません。また、この仮設焼却炉を作ったことで村の家屋解体も可能になりました。

東京電力で作られた電気は関東圏で使われているはずなのに、そのどの県にも廃棄物の処理場が決まっていないという現実があります。私たちの避難生活に思いを馳せ、「お互いさま」の考え方を生かしてもうえればとも思います。

この先、いろいろなことが待ち受けていることでしょう。「お互いさま」の心が実ったこの誇れる日を村の復興の再スタートの日としたいものです。

平成27年11月24日 飯館村長 菅野 典雄